

着

mono 通信

yorodaya

2020・10 vol.25



原町本店
〒975-0026
南相馬市原町区栄町2-83
TEL: 0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL: 0246-85-5298

みなさまこんにちは！すっかり秋の気配となり待ちに待った10月は、単衣から袷へ衣替えの季節です。もちろん夏きものや単衣も楽しいのですが、これからの季節はきものを着るのに抜群の季節と自負しております。しかし最近の地球温暖化の影響で、10月でも30度を超してしまう日もあったりするので、いつでも単衣の準備はしております。長襦袢にいたっては、きものが袷になっても単衣に仕立てた紋紗の薄手を着てます。袖が無双でない分大変涼しく着心地も抜群です。4月～5月、9月～10月は襦袢は単衣を着てます。着物にはいろいろと季節やTPOにそったルールがありますが、秋でも暑かったら半袖を着るように、夏でも寒かったら長袖を着るように、気候の変化に合わせて変化してもいいのでは？などと最近思います。自分が快適に感じる着こなしも大切ですね。10月の着物生活思いっきり楽しみましょう！

<ご来場ありがとうございました>

9月3日(木)～5日(土)に南相馬市民文化会館ゆめはっと・多目的ホールにて開催された「原町本店 初秋きもの総力祭」にご来場いただきまして誠にありがとうございました。コロナ禍で開催すること自体悩みましたが、たくさんのお客様からの励ましや温かいお言葉に何とか元気を取り戻そうと開催した次第でした。

ご来場くださったお客様、また日頃から当店をご利用のお客様、全てのお客様に感謝申し上げます。ありがとうございました！



今回の総力祭には、絞り工芸士の木永栄絹先生にご来場いただき、桶絞りや染めの技法などについてご紹介いただき、実際に絞りの工程の大変さなどたくさんのお話で盛り上がりました。「絞った糸を4秒でほどけたら、着物を差し上げます」との先生の提案にお客様も必死になってほどきましたが、なかなか4秒では無理！ところが先生の手にかかるとあら不思議、4秒どころかあっという間に糸がほどけてしまいました。職人の知恵と技のなすものだと改めて関心しました。先生は毎日ご自分で絞り染めを施したYシャツを着ていてなかなか素敵でした。

先生の作品はどれも素敵でしたが、特に絞りの袋帯が人気で、色使いやデザイン性が大変好評でした。

hibicolleもたくさん展示され、見たえありました！お客様の笑顔あふれる催事となり、心からこの仕事の楽しさを実感いたしました。



< yoroduya コーディネート～染め帯～ >

秋の染め帯コーディネート

10月になり裕のおしゃれを楽しめる季節。今回はこの季節に合わせたい染め帯をご紹介します。

染め帯は紬でもやわらか
ものでもどちらにも合わせ
やすく重宝します！



格子柄の米沢紬に桐生絞りの帯を合わせました。桐生織のシャキッとした帯ですが、優しい花模様の絞りが柔らかなさをアピールしてくれる可愛らしい帯です。

桐生絞り染め帯 185,000円(税別)
米沢紬 78,000円(税別)
柿渋染め帯締め 7,000円(税別)



絞りの飛び柄の小紋に合わせた、手描きの塩瀬です。塩瀬といえば染め帯、染め帯といえば塩瀬というくらい代表的な帯です。手描きならではの風合いが本当に美しい帯です。

塩瀬名古屋帯 228,000円(税別)
絞小紋 180,000円(税別)
柿渋染め帯締め 7,000円(税別)



無地の結城紬に、同じく結城紬の染め帯は京紅型の栗山工場のデザイン性が高い帯です。同系色のコーディネートで秋らしい装いしてみました。

結城紬染め帯 248,000円(税別)
結城紬(無地) 198,000円(税別)
柿渋染め帯締め 7,000円(税別)

教えて！着付けのコツ

～前帯の位置が決まらない～ 「最初に前帯の柄の位置を確認します」

最初に前帯の柄の位置を決めて、胴の長さを計算してから帯を巻き始める位置を決定すると確実に締めることができます。

- ①右手で「て」、左手で「たれ」を持ち、前帯の柄の位置を決め、てとたれを背中心で合わせて胴回りを測る。
- ②そのまま帯を体の前に出し、ひと巻分を左手で持ち、て先に向かってもうひと巻分を測る。
- ③右手に持っているふた巻分の端を右手で持ち背中心に当てる。
- ④左手で、て先の左肩にかけ、クリップなどで留めて、て先が落ちないようにする。
- ⑤左手の親指を腰にあて、右手を使って帯を折り上げ、腰にふた巻締めていく。

※巻始めの位置がわかったら、小さな糸印をつけておくと次回以降便利ですよ

参考文献:着物の辞典 大久保信子監修

今月のおススメ！

MIMORONE
ピアス・イヤリング他
4,500円(税込)～



今回おススメする商品は、小高で育てたお蚕さまから頂いた絹糸を小高で育てた草木で染めた100%小高産の絹糸を使って手作りしたピアスとイヤリングです。よもぎや藍、やまぼうし、茜、白梅、タマネギなどで草木染された絹糸は人の温もりが感じられる、まさに小高の暮らしと共にある糸です。絹糸の光沢感は、耳で揺れるとキラキラ輝いてまるで真珠のようです。普段使いから、フォーマルまで幅広く



活用でき、もちろんお着物の時でも素敵です。アクセサリはあまり付けられないという方には、写真中央の「ハットピン」がおススメです。帽子の飾りの他にも、ジャケットやストールにぜひ！

…若女将のつぶやき…

着mono通信を発行してから、2年が過ぎ気づけばVol25です。毎回ネタを考えるのもですが、いろいろと課題がありまして……それは、写真です。写真をもっときれいに撮りたい！最近ではスマートフォンのカメラ機能もすぐれているので充分きれいに撮れるのですが、やはり一眼レフで頑張りたい！しかし、ホワイトバランスとか、シャッター速度とか、光のなんとかが～とか学ぶことが多そうです。きものは本当に色が大事。きものカラーコーディネーターの勉強を通して学びました。実際に見る色と、写真では全然違いますからね～。ですので、気になる商品はぜひ店頭でお手に取って見てください！